

授業科目 NO. 109 社会保障制度論

The Social Security System

授 業 の 形 態 : 講義

単位数 (時間数): 1 単位 (15 時間)

開講年次・学期: 2 年次・前期

必修・選択の別: 必修

キ ー ワ ー ド : 社会保障、日本国憲法、厚生行政、医療保険、年金、生活保護、障害者、児童

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

1) 一般目標 (GIO)

看護の対象の生活を捉え、その生活を支える社会資源を把握する能力を養う。そのために、社会資源の重要な要素である社会保障制度、特に看護活動と密接な医療・保健・福祉に関する制度について、法的根拠、仕組みと内容を理解する。そのうえで、看護の対象の状況に応じて、利用可能な社会資源について適切にアドバイスできる能力を養う。また、社会保障制度の歴史の変遷や国際比較をもとに、我が国の社会保障制度の特徴と課題を分析する能力を養う。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 看護専門職者が対象の生活を捉え、それを支える社会資源としての社会保障制度を理解しなければならないことを説明できる。(③)
- (2) 我が国の社会保障制度の法的根拠、仕組みと特徴を説明できる。(③)
- (3) 我が国の社会保障制度の動向を社会情勢の変化と照らし合わせて説明できる。(③)
- (4) 我が国の社会保障制度の課題を述べることができる。(③)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	90%
実習成績	%
レポート	10%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：奥野 敬生

教 授 奥野 敬生（公衆衛生看護学）

6 教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉、健康支援と社会保障制度 3 最新版
(医学書院)

7 推薦参考書

授業中に適宜紹介する。

8 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業 1 コマにつき、事前学習・事後学習として計 180 分程度必要である。
- ・教科書の該当箇所を読み、講義内容の理解を深めることが必要である。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・レポートテーマ：新聞やニュースなどを通して関心を持った出来事について、社会保障制度に関連する概要をまとめ、自身の考えを述べる。
- ・提出されたレポートにはコメントをフィードバックする。
- ・試験については解説を試験後にフィードバックする。

10 履修上の注意事項

教科書は必ず持参すること。

新聞やニュースなどを通して社会情勢の変化に関心をもち、社会保障制度について考える機会をもってほしい。

11 オフィスアワー等

質問は e-mail で随時受け付ける。

連絡先

奥野 : okunotk@kanazawa-med.ac.jp

第2学年

社会保障制度論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	5月09日(金)	2	講義	ガイダンス、社会保障の理念、目的、機能、体系		公衆衛生看護学	奥野教授
前	2	5月16日(金)	2	講義	現代社会の変化と社会保障の動向		公衆衛生看護学	奥野教授
前	3	5月23日(金)	2	講義	医療保険制度		公衆衛生看護学	奥野教授
前	4	5月30日(金)	1	講義	労働者保護に関する制度		公衆衛生看護学	奥野教授
前	5	6月06日(金)	2	講義	公的扶助、生活保護制度		公衆衛生看護学	奥野教授
前	6	6月13日(金)	2	講義	社会福祉制度		公衆衛生看護学	奥野教授
前	7	6月20日(金)	2	講義	障害者福祉		公衆衛生看護学	奥野教授
前	8(0.5)	6月27日(金)	2	講義	児童家庭福祉、まとめ	レポート	公衆衛生看護学	奥野教授